

松篁、松園

SHOEN

を語る



上村松園「娘」大正15年(1926)

2023年

3月28日(火) - 6月25日(日)

【休館日】月曜日 【開館時間】10時～17時(入館は16時まで)

【入館料】大人〔高校生・大学生を含む〕820円、小学生・中学生410円

【主催】公益財団法人 松柏美術館、毎日新聞社

館長 上村淳之による美術講演会 5月13日(土) 14時～15時



上村松篁「万葉の春」(部分)昭和45年(1970) 近鉄グループホールディングス株式会社蔵 松柏美術館管理

松園、松篁

SHOKO

を語る展



松柏美術館 検索

松柏美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

〒631-0004 奈良市登美ヶ丘2丁目1番4号 Tel.0742-41-6666

松園と松篁はお互いを尊重し、画のことはお互い話をしなかったといいます。しかし、松篁が母・松園のことを語った文章はいくつも遺っています。また、松園の文章にも松篁について触れた箇所を見つけることができます。

それらを拾い上げ、それを基に、画道ひとすじに生きた、松園と松篁の作品を紹介します。



上村松園「鼓の音」昭和15年(1940) 5月9日～6月25日展示



上村松篁「開光」昭和2年(1927)



上村松園「新堂」(部分) 昭和7年(1932) 3月28日～5月7日展示



上村松園「花がたみ」大正4年(1915)

松園のことば
松篁は羊の絵を制作中でしたが、夜更になって、そつと松篁の画室の方をのぞいて見ますと電灯がついている、さてはまた描いているなと思ひまして、わたくしも負けずにまた筆を執るといふ具合で、母子競争で制作に励んだわけでした。
『『草紙洗』を描いて』
『大毎美術』第十六巻・第十一号 昭和12年11月



上村松篁「母子の羊」昭和12年(1937)

松篁のことば
長い間、美人画一筋で人物の描き方を研究し、すべてオリジナールから技法を生み出して描いた母の絵は、まるで深みが違う。私のはただ概念的に、既成の人物画の技法を知識として学んだ絵で、改めて自分の底の浅さを思い知らされた。
『春花秋鳥』日本経済新聞社 昭和61年6月



上村松園「松園の幼時2」(部分) 明治36年(1903)頃



上村松園「春苑」『夕べ』2作品の下絵 昭和10年(1935)



上村松篁「楕」大正13年(1924)

館長 上村淳之による 美術講演会

(事前申込による抽選制)

- 【日時】 5月13日(土)14時～15時
- 【場所】 松伯美術館展示室
- 【座席定員】 50名(座席指定)
- 【聴講料】 無料、但し入館料が必要
- 【申込方法】 往復はがき「往信裏面」に、
①郵便番号 ②名前 ③住所
④電話番号 ⑤参加希望人数(2名まで)
- 【申込締切】 4月21日(金)必着

※はがきに記載された個人情報は、本催事のお申し込みのみに使用し、厳正にお取り扱いします。

松伯美術館

SHOUHAKU ART MUSEUM

松伯美術館「友の会」会員募集中!

無料入館ほか様々な特典をご用意、皆さまのご入会をお待ちしております。



松伯美術館は、Googleが提供するGoogleArts&Cultureに参加しています。当館所蔵作品の高解像度画像や360°のパノラマ画像「ミュージアムビュー」で館内の様子をご覧いただけます。

<https://artsandculture.google.com/shohaku> 検索

交通のご案内

近鉄奈良線「学園前駅」北口バスターミナル⑤・⑥番のりばよりバス約5分、「大洲橋(松伯美術館前)」下車、大洲橋を渡った右側。 ※駐車台数に限りがあるため、「電車・バス」のご利用をお願いします。

